

お知らせ

INFORMATION

No2021-36

2021年11月

病体生理研究所

新規検査項目受託開始のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたので、ご案内申し上げます。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

【新規受託開始について】

◆ 特異的 IgE m218 Asp f 1(アスペルギルス由来) [16249]
…検査実施施設 (S)

※項目情報裏面参照

《受託開始日》：2021年11月29日（月）受付分より

m218 Asp f 1 (アスペルギルス由来)

アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (ABPA) の診断補助に有用な検査です。

アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (ABPA) は、重症喘息の中に潜在している例も多く、再発を繰り返すと線維化から呼吸不全に至ることもあり、早期の診断と治療が大切な疾患です。

成人気管支喘息患者のうち 10%前後にアスペルギルス感作があるとされております。アスペルギルス感作喘息の 10%~20% (成人気管支喘息の 1%~2%) が ABPA とされており、早期に疑い、積極的に ABPA スクリーニングのための CT 検査等を進めていく必要があります。

本項目は、アスペルギルスから抽出されるアレルゲンコンポーネントの 1 つの特異的 IgE 検査で、ABPA の発症原因となるアスペルギルス・フミガーツスの主要アレルゲンを検出するため、ABPA の診断補助に有用です。

【新規項目情報】

項目名称	m218 Asp f 1 (アスペルギルス由来) (アス ^o エフ ワ)
コード	16249
検体材料	血清 0.3mL
保存	冷蔵
採取容器	No1 → No5
検査方法	FEIA
基準値・単位	(0) 0.34 以下 UA/mL
所要日数	3~6 日
実施料 (区分)	1 アレルゲン 110 点 (D015 13)
判断料	144 点 (免疫学的検査判断料)
備考	・判定基準は下記をご参照下さい。

◆ 特異的 IgE シングルアレルゲン判定基準

クラス	特異的 IgE 抗体価 (UA/mL)	判定
0	0.34 以下	陰性
1	0.35~0.69	疑陽性
2	0.70~3.49	陽性
3	3.50~17.49	
4	17.50~49.99	
5	50.00~99.99	
6	100 以上	

参考文献：奥田 勲，他：医学検査 46 (10)：1525~1530, 1997. (検査方法参考文献)

Yama Fukutomi, et al: Allergol int. 65 (1)：30~36, 2016. (臨床的意義参考文献)

以上